

拾いモノの効用

江宮隆之

小説を書くという作業は、落とし物というよりは拾いモノをする方が多いような気がする。

というのは、出来上がった作品が自分にとっての拾い物という訳ではなく、そこに至る過程で知り得た全てが拾いモノという意味合いである。

ものを書くということは、実はこんこんと湧きいづる泉から掬い取るものではない。ある文章を書くためにはそのテーマに沿った基本的な知識を得なければならない。

図書館に行く。書店に行く。大学に行く。人に会う。話を聞く。手持ちの資料を紐解く。こうした時間と手間を掛けた末に、やっと自分が望んでいる材料を手に入れることが出来る。

一冊の小説を書くのに、100の材料が必要だとしたら、300から400の材料を集めなければ、執筆には取り掛かれないのが「書く現場」の実情である。300集めた材料の中から200を捨て去って100を残す。ということはどれを拾い上げ、どれを捨て去るか取捨選択という作業が、大事だ。

同じテーマ、例えば「武田信玄」を扱っても「新撰組」

を扱っても、作家によって（文体は別にして）そのテーマに対する視線、視る角度、エピソードの取り上げ方が違ってくるのである。

そこに資料（小説の材料）の取捨選択の妙がある。

さて、ここで捨て去った物を含む資料・材料が、実は作家にとっての「拾いモノ」なのである。小説には生かされなかった事柄が、作家の中で、いわゆる「トリビア」に変容していく。

雑学と言い換えてもよい。この「トリビア」を自分の引き出しに入れておきさえすれば（必ず覚えておく、という条件付きだが）、これが意外に役に立つ。

酒を飲んだ時の他人との会話。依頼された講演でのちょっとした小話。かくて、落とし物の中から拾うモノの奥深く底広いこと。役に立つこと。限りなしという訳である。

さて落とし物の話である。落とすと失う、という言葉換えが許されるならば、言えることがある。「誰もが確実に失うモノがある。それは時間。時間は人生の最大の落とし物であろう」。

とんでもない おとしもの

古屋久昭

谷川俊太郎の「かなしみ」という詩の中に、「あの青い空の波の音が聞こえるあたりに／何かとんでもないおとし物を／僕はしてきてしまったらしい」という一節がある。

むろん、このおとしものが具体的な、たとえば万年筆や財布などでないことはいうまでもない。去りゆく青春の一抹の感傷を喩えて言っているのであろう。だれにもそのような意味でのおとしものは人生の節々にあるものである。うそぶくならば、「常に何かを落とし続けているのが人生さ」。

現実的な話に切り替えよう。

笛吹川の河原で久しぶりに愛犬クロとはしゃいでいた。クロ嬢に弄ばれ、よせばいいのに飛び跳ねたりしたのがいけなかった。家に帰ってきてすぐに免許証のないのに気がついた。シャツの胸ポケットに入れておいたはずだった。1日おいて警察署に届け出た。

「どうせそのうちまた出てきますよ」と冷ややかな家内。「お父さんはいつでもそんなことばかり言ってるじゃん」と父親を小馬鹿にするむすめ。

そして3日目、部屋のひょんなところから免許証は「どうしたんだい」というような面構えで現れたのだ。

車の鍵もちょくちよくお隠れになる。合い鍵があるものの、「どこだどこだ」と焦る。しかし必ずお出ましになる。

どうやら私には、ものを無意識にちょっとしたところに置く癖があるらしい。

自慢じゃないが、私はおとしもののほうは余りしたことがないと思っている。置き忘れが圧倒的に多い。このごろは特にひどい。家内と一緒にのときはいい。家の中での置き忘れもいい。こまるのは一人で外にいるときである。認知症ともなれば自分自身を置き忘れてくるのではないかと恐れる。

戦後60年、日本人もたくさん大切なことを置き忘れてきたはずだ。なくしてきたにちがいない。おとしものだらけといってもいい。

だが、日本の、世界の、人類の、とんでもない最大の悲しみの落とし物は、2発の原子爆弾。大であれ小であれ、戦争の落とし物ほど無意味で罪なるおとしものはない。あの青い空から、信じられないほどだ。

青春落とし物

岩崎正吾

もちろん自慢になることではないが、落とし物なんかには事欠かない。特に老境を迎えたと自覚している近年は、やたらに落とし物をするようだ。「ようだ」と他人ごとみたいにいうのは、自分でわかっていない落とし物がたくさんあるのではないかと思うからである。落とし物さえしなければ、きっと今頃はビルの2つ3つ持っていたのではないだろうか。

現に今も、わたしは老眼鏡を見失ってしまい、日々、不自由をかこっている。新聞も読めないし、食べるものだって何だかよくわからない。カボチャかと思って口に入れたら、ナスだったりしてびっくりさせられる。老眼鏡は予備を5つ6つ持っているが、よりによっていちばんいいのを失くしてしまった。作り直せばいいのだが、眼鏡の値段もバカにはならない。前に失くしたときは冷蔵庫から出てきたから、今度も思いがけないところから出てくるかもしれない。そう考えるともったいなくて、1日延ばしているうちにとうとう1ヶ月以上もたってしまった。

おそらくこれも年のせいだろうが、何年も前の「落とし物」のような出来事をふと思い出すこともある。若

失われた風景

佐藤眞佐美

アイヌ語でシレットクは、地の涯を意味する。知床は、わたしの生まれ故郷だ。ここを舞台に4冊の児童文学を書いている。『ジョンガラの歌がきこえる』—1960年代に離農する一家を描いた自伝的的少年小説。『ぼくらは知床岬探検隊』—憲兵だった叔父が、敗戦後5年間隠れていた秘境の風景（以上ポプラ社）。『シレットクのシルバー』（草炎社）—戦後知床にやってきた都会の少年との交流。『文ちゃんのはるかな知床』（北海道新聞社）—祖父母の知床開拓の苦闘の物語。いずれも売れない。うだつのあがらぬ自称田舎の文化人は、世界遺産登録の報せをきいて、いささか複雑な心境である。

祖父たち山形開拓団が大正の初めに北海道へ入殖したとき、まともな土地は有力者によって自在に切り取られ、残っていたのは地の涯だけだった。5町歩の原生林を5年で農地にすれば、無料でくれるという条件で、5反百姓か小作人が主だった移住者にとっては、大農になるチャンスだった。冷害、早ぼつ、洪水と闘い、彼等はここで4年間頑張る。あと1年で自分のものになる、と期待したその秋、思いもかけぬ災害

い頃、世話になった人がいて、長いこと会わずにいた。その方が急に手紙をくれ、返事を書かなければと思いつつ2年ほど過ぎてしまった。そして、突然、その方の訃報が飛び込んできた。この落とし物は永久に探しだすことができない。万事休すと天を仰ぐしか仕方がないのだ。

学生時代に金を借りて、そのままになっている友だちのことを突然思い出すこともある。学生劇団にいた時、上級生のイジメにあい、劇団をやめようとしたことがあった。そのときたまたま居合わせた下級生の女の子が、なぜか突然「わたしもやめる」と言った。そんなことを40年もたった今頃、あの下級生はわたしに好意を持ってくれたのだと思いいたる。しかし、これも、永久に探しだせない「落とし物」としか言いようがないものだろう。

落とし物を探し、それらを数えあげ、そして取り返しのつかない悔恨におそわれる。凡人の人生たるや、その連続ではないだろうか。

に見舞われる。イナゴの大群である。収穫直前の芋や豆は根こそぎ食い荒らされ、その後は収穫皆無。全員が知床を脱出、ほとんどが帰郷するか転職した。数家族が、同じ知床の平地に移った。そこは三井財閥の所有地「三井農場」の一画であった。再び小作人に戻ったのである。

明治40年の大洪水で、北海道の羊蹄山麓へ新山梨村を築いた人々も、劣悪な立地条件に散りじりになる。一部が三井農場へ移動していた。ここでわたしの父と母が出会う風景は、既に記したかもしれない。母はわたしが4歳のときに他界した。

開拓地では秋になると、隣近所が協同で収穫作業をする。これを「手間返し」と言った。手助けにきた同じ人数を、手間で返すのである。乾燥した雑穀をむしろの上に広げ、から竿（先っぽの回転する竹竿）で叩く。この脱穀作業を「落とし物」と言う。終わった夜は、小皿叩いてのチャンチキ騒ぎ。翌日は隣の家に手間返しにいき、終わればどぶろくさん昧。いま知床に農家は一軒もない。むろん「手間返し」の習慣も「落とし物」の風景もない。

江宮隆之■
えみや・たかゆき
増穂町生まれ。中央大学卒。歴史文学賞、中村星湖文学賞受賞。著書に『白磁の人』『武田勝頼 花の歳月』『わたちの新選組 花期花会』など多数。新刊：『母人形』（河出書房新社）、「直江兼統」(学研M文庫)
小説「白磁の人」は映画制作委員会が作られた

古屋久昭■
1943年御坂町生まれ
日本現代詩人会会員 日本現代詩歌文学館評議員 詩集に『落日探集』ほか。童謡集に「虫らしく花らしく」 エッセー集等

岩崎正吾■
1944年甲府市生まれ
作家 山梨ふるさと文庫代表 現在 1冊でも本のつくれるオンデマンド印刷機を山梨に導入しようと奮闘中
また インターネット上で作家 出版活動しようとして模索中 今春新作ミステリー「探偵の冬」が刊行され 同時に「探偵の秋」が文庫化される

佐藤眞佐美■
1939年北海道生まれ
日本児童文学者協会 日本児童文学協会 著書に『怪奇！大東京妖怪ゾーン』(ポプラ社)「文ちゃんのはるかな知床」(北海道新聞社) 近著に『シレットクのシルバー』(草炎社)「山梨の童話」(リファ出版)など

空から眺める山梨 野鳥の暮らしと生態 歌声、メッセージ、交流



早野 潔



依田 正直 氏

ゲスト

よ だ まさなお
依田 正直 氏
日本野鳥の会甲府支部支部長

ホスト

はやの きよし
早野 潔 早野組社長

野鳥は自然環境の指標 270種がいまは160種に

早野 「野鳥の会」という名前からは、大きなロマンを感じますね。全国組織で、先生はその甲府支部の支部長をなさっています。会の理念は、何でしょう。

依田 「今日は鳥、明日は人」です。野鳥は自然環境の善し悪しを測る指標ですから、野鳥の暮らしぶりを知り、人の生活環境をよりよいものにしようという取り組みをしています。活動の3つの柱は、知ること、親しむこと、^{まも}護ることです。野鳥の生息環境を護ることは、人の生活環境を護ることであります。

まず、鳥のことを知る、すると鳥と人の距離が近くなる、親しみがでる、すると護っていかねばならないという意識がめばえていきます。

「野鳥の会」の会員は、全国では約4万人、甲府支部には280人の会員がいますが、子どもからお年寄りまで、幅広く、職業もさまざまです。

早野 山梨にはどのくらいの野鳥が生息しているのでしょうか。環境の変化によって、種にも、生態にも、変化が起こっているのではないのでしょうか。危機的状況の野鳥もいるのでしょうか。

依田 やっと、このほど3年間の調査結果がまとまったところです。野鳥にはいくつもの種がありますが、まず、一年中同じところにいる留鳥が60種、それから夏に日本に来て繁殖する夏鳥が40種、冬鳥が33種、それから日本列島を通過して南極圏、北極圏を行き来する旅鳥が4種

います。また、迷鳥が4種で、合計160種になります。

早野 全国では約500種といわれていますから、約3分の1ですね。山梨は県土の78パーセントが山林ですから、もっと多いのではないかと意外な人もいるでしょうね。

依田 山梨は海なし県ですから、海鳥がいません。海鳥の種というのは多いのです。また、日本列島は亜寒帯気候から亜熱帯気候まで陸地が長いのですが、山梨はそのなかにあって、山に囲まれた狭い地域といえます。

さらに、山梨は山林の占める割合が圧倒的ですが、山林の44パーセントは、スギ、ヒノキなどの人工林です。人工林というのは野鳥の生息環境としてはあまりよくありません。野鳥にとって望ましい条件は、餌になる実をつける低木や、虫のつきやすい落葉広葉樹です。

早野 野鳥は環境の指標とおっしゃいましたが、野鳥の種は、いま、どのような状況にあるのでしょうか。

依田 残念なことに、40年前の調査では270種が確認されていました。ところが、今日では、半分になろうとしています。もちろんこれは山梨だけの原因というのではなく、野鳥の住む環境というのは、地球レベルですから、問題が大きいのです。たとえば、夏鳥は日本から南に帰っても、生活する場所が失くなっています。日本に渡ってきても、同じ状況になりつつあります。

早野 そうしますと、ダブルパンチですね。

依田 野鳥の減少した理由には、生息環境の消失と、生息環境の悪化と

があります。森林の伐採や、干潟の埋め立て、湿地が失くなったことは、生息環境の消失です。温暖化、大気汚染、水質汚染は、生息環境の悪化で、これらは地球レベルの出来事です。

早野 こうした加速度的な減少では、10年後は、一体どういうことになってしまうのでしょうか。不安であり、深刻ですね。

依田 このスピードで減り続けられれば、10年後にはおよそ100種になってしまうでしょう。たとえば、イヌワシやライチョウなどは、すでに絶滅の危機にさらされています。ハチクマ、ハイタカなど、タカ類も、やがて絶滅すると予測されています。

10年で60種が絶滅の危機 タカ類の減少と、森の異変

早野 自然界は、どうなってしまったのでしょうか。タカは勇壮で、大昔から森の主ではなかったのですか。

依田 タカ類の減少は、自然環境の悪化を如実に示しています。自然界には食物連鎖があり、この食べたり食べられたりする食物連鎖のピラミッドの頂点にいるのが猛禽類で、タカの仲間でした。

このタカが危機的状況にあるということは、環境がどれほど悪化しているかをうかがわせます。

早野 つまり、イヌワシやライチョウをはじめとして、この10年間で60種が絶滅すると危惧されているのですね。絶滅とは、恐ろしいことですね。

依田 自然界には自然淘汰、つまり、自然絶滅という絶滅の仕方があります。環境が変わると生物もその環境に合わせて生活の仕方を変え、適応



していくのです。たとえば、長かった翼が短くなる、ということがあります。これは絶滅というのではなく、種は変わりますが、遺伝子は引き継がれていきます。

ところが、絶滅というのは遺伝子が失くなり、その種が絶えてしまうことです。また、こうした自然絶滅というのは約60年で1種といわれてきましたが、これに較べると、いまの絶滅のスピードというのは、山梨においては7,260倍という計算になります。

早野 これはたいへんなことですね。身近な動植物においても同じことがいえるのでしょうか。突然姿を見かけなくなり、どうしたのかと話題になることがあります。子供の頃に遊んだ動植物、たとえば、メダカがいなくなりましたし、トノサマガエルもいなくなりました。

依田 植物の絶滅にも驚かされますね。あんなにも身近だったキキョウ

や、オミナエシ、カワラナデシコも失われつつあります。

なんといっても、永久凍土の異変や氷河が溶け出したというのですから、おだやかではありません。地球の温暖化は、そこまで影響を及ぼしているのです。ある学者は、300年後には、人類の生存も危ぶまされると警告しています。

早野 どうなのでしょう、アメリカのハリケーンも、温暖化に起因するのではないのでしょうか。日本といわず、世界といわず、異常なことが、あたり前のように起こっています。

■ 野鳥と親しんだ子供時代 メジロと食べたイチジク

早野 野鳥というのは子供の頃から接しませんと、なかなか親しくはなれないのではないのでしょうか。先生は市川大門のご出身でいらっしゃいますね。

依田 自然に恵まれた地で育ちました。昔は子供のおやつになるようにと、どの家でも庭に果樹を植えたのですが、わが家にはイチジクがありました。学校から帰ってイチジクの木に登ると、もうメジロが先に来て実をついばんでいます。上手に穴を開け、首を突っ込み、中をくり抜いて食べるのです。およそ30羽ほどはいましたが、手の届きそうなどころにいるのに、逃げません。追い払っても、追い払っても、また、集まってきます。

早野 憎めませんし、可愛いですよね。野鳥と一緒に思い出が、たくさんおありなのですね。

依田 コノハズクは貴重で、山梨ではもう1カ所しか確認できないのですが、子供の頃は身近でした。夜、神社の森で鳴くのが聞こえてくるのですが、神秘の世界に引き込まれました。祖母は霊鳥だといって、手を

合わせていました。

冬には、雪のなかをヒヨドリがやってきました。ある日、パチンコと称する道具を作って撃ったところ、足を傷つけてしまいました。父親に見つかり、それはもう、きびしく叱られました。

早野 野鳥との付き合いのしつづけられたのでしょうか。あの頃の子供は、鳥が遊び相手でした。その向こうには、大きな自然がありましたね。

依田 5、6歳の頃でしたか、狩猟の好きな叔父さんに連れられ、スズメを撃ちに出かけました。撃ち落としたスズメを探してこいといわれ、手にのせたときのことです。

撃たれたスズメは、まだ温かくて、そのとき、はっとしました。自分と同じ生きものだということに気づいたのです。野鳥の命というものを、はじめて実感しました。

■ 県の鳥ウグイスは神の使い 甲府の鳥カワセミは30羽

早野 山梨県の「県の鳥」はウグイスですが、これはどういうことに由来するのでしょうか。

依田 ウグイスというのは、その昔から神の使いだとされてきました。名のおこりも、宇佐八幡、熊野権現、伊勢神宮、諏訪神社と、4つの神社の頭文字をつなげると、ウグイスとなります。それから、ウグイスの動作は機敏ですから、よく働く県民性を象徴するのにふさわしい、ということだったのでしょう。

早野 甲府市の「市の鳥」は、カワセミです。とてもカラフルな鳥で、宝飾のまちにふさわしいのですが、いま、生息状況はどうでしょう。

依田 「市の鳥」を決定するときには、カワセミ委員会を設け、3年ほど甲府市内の全河川を調査しました。当時は36羽を確認しましたが、昨年の調査では30羽ほどでした。

カワセミは土手に穴を掘って巣を作るのですが、都市化により、場所探しが困難になってきました。里山にまで出かけて巣作りをしたり、驚きましたのは、廃土を盛ったところに繁殖したり、ゴミを埋めるために掘った穴に横穴を開けて巣を作ったりしていました。

早野 けなげというか、涙ぐましいですね。

先生のお話を伺っていると、探鳥や、自然散策に出かけていきたくりますが、初心者のための手ほどきをしていただけますか。

依田 探鳥の楽しみというのは、珍しい鳥、美しい鳥を見たい、何種類もの鳥と出会いたい、というのが主流でしょうか。あるいは、写真撮影や、カウント趣味というものもあります。NHKの紅白歌合戦でも、紅白の探

点を「野鳥の会」の会員がカウントしていますよね。

探鳥の場所、コース、時間帯などについては、「野鳥の会」が監修し山梨県が発行している「山梨の野鳥観察地」などの冊子をご利用されるとよいでしょう。県内15カ所のコースを紹介していますので、どんな鳥と出会いたいのか、環境や、季節を調べてお出かけください。

早野 「野鳥の会」では年間を通して探鳥会をしていて、もう、40年になるそうですね。毎月第1日曜日には定例の「武田の杜探鳥会」を開いて、会員でない方も参加しています。初心者はサポートをしていただくといいですね。

■ 身近な野鳥との交流法 過剰なサポートは禁物

早野 通勤途中や家の庭でも野鳥を見かけることがあります。身近に交流するにはどうしたらよいでしょう。また、「愛鳥」や「保護」の名のもとに、誤解している接し方などは



ないでしょうか。

依田 野鳥は野生ですから、野生を失わせるようなサポートはすべきではないでしょうね。たとえば、給餌台などの設置も、状況判断によります。野鳥というのは、生まれたとしても、およそ、20パーセントしか生き残れません。深刻なのは、冬場の寒さと餌不足で、こうしたときのサポートはよいでしょうね。

早野 「野鳥の会」が「ヒナを拾わないでください」というキャンペーンをしましたね。

依田 野鳥のヒナは未熟ですから、巣立ちのときに巣から落ちます。親は心配ですから、放っておいても面倒をみるのですが、これを確認しないで、可哀想だと拾い、鳥獣センターへ持っていくケースが多いですね。

一方では、巣から落ちて自立できないヒナは自然界では生きられない、したがって、拾うことはない、という意見もあります。いずれにしても、野鳥が人間依存になるような接し方は避けるべきでしょう。

早野 保護したからといって、野生に戻れるかどうかという、これも問題ですよね。

依田 身近で野鳥と交流するのであれば、バードバス、つまり、水浴び場を設けるとよいでしょう。都市化により、道路も舗装され、水溜まりというものがなく、昔のように野鳥が水を飲んだり、水浴びをするところが少なくなりました。これらは過剰なサポートとはならないでしょう。

早野 タカ類が絶滅の危機にあるということで、鷹とともに描かれた「武田信玄画像」を思い浮かべました。

鷹狩りをはじめ、戦国の武将達はいそう鷹を好みましたよね。大空を舞う精悍な姿に憧れ、夢を託したのでしょう。

依田 その昔から野鳥と人の関係は深く、歌に詠まれ、絵に描かれ、昔話にも登場します。そうした作品を鑑賞すると、よくそれぞれの野鳥の特徴を捉え、細やかに表現しています。若山牧水は旅をしながら、野鳥の歌を3,000首ものこしています。

宮本武蔵も、モズを描いていますひとよてが、一筆でありながら、まさにモズの生態をとらえていて驚かされます。じつによく観察しているのですね。

早野 先生がご覧になると、寺院の襖絵に描かれた野鳥をとおして、画家達の能力も明らかになってまいりますね。

[構成：三神 弘]



野鳥
とともに

体験してみませんか、 野鳥たちとの出会いを！！

OPEN THE NEXT DOOR!

平成17年度後半の行事

日本野鳥の会甲府支部

年	月	日	曜	集合時間	集合場所	行事名	申込	担当
17年	10	2	日	7:30	武田神社前	定例武田の杜探鳥会		樋川
		16	日	9:00	県立美術館西側駐車場	貢川と荒川合流点探鳥会		笠井
	11	6	日	7:30	武田神社前	定例武田の杜探鳥会		樋川
		未定	土日	8:30	小瀬スポーツ公園	県民の日イベント・野鳥のコーナー出展参加		清水
		20	日	6:00	甲府駅北口	上越でマガンとサケの遡上を見る会	11/15	清水
	12	4	日	7:30	武田神社前	定例武田の杜探鳥会（市民探鳥会）		樋川
4		日	11:00	(未定)	オークション・忘年会	11/27	斉木	
18年	1	8	日	7:30	武田神社前	定例武田の杜探鳥会		樋川
		22	日	9:00	富士川大橋東詰	富士川大橋と三郡橋周辺探鳥会（市民探鳥会）		井上
	2	5	日	7:30	武田神社前	定例武田の杜探鳥会		樋川
		5	日	10:00	(未定)	室内研修会		中村
	3	19	日	8:00	甲府駅北口	河口湖カモ類探鳥会	2/14	藤原
		5	日	7:30	武田神社前	定例武田の杜探鳥会		樋川
		19	日	7:30	甲府駅北口	野辺山周辺探鳥会	3/14	林

■担当幹事（甲府：055-）

市川…232-1844

井上…0556-22-6261

遠藤…279-0326

大倉…272-2830

笠井…223-3987

小林…233-3040

斉木…253-5182

坂本…233-5574

清水…251-7927

中村…253-3989

野沢…228-7366

林…232-7710

樋川…277-8826

藤原…237-5158

村山…241-5074

依田…252-2996

■定例武田の杜探鳥会は雨天でも行いますが、コースは変更します。どなたでも参加できます。

■その他の探鳥会は雨天、降雪中止。参加者募集は定例探鳥会などで、そのつど行いますので、担当者か事務局に申し込んでください。

■探鳥会以外の行事も、別途参加者を募集します。時間等が変わることもあります。

事務局：〒400-0826 甲府市西高橋町89（明日香建築設計事務所内）電話055-228-7366

URL：http://www5.ocn.ne.jp/~yacho-kf E-mail：n_hisa@muf.biglobe.ne.jp



野外調査計画準備会



県民の日イベントの出店



野鳥豆博士コンクール



巣箱運搬（背負子で現地に）



定例探鳥会（竜ガ池の畔）



小学生を対象に野鳥教室



巣箱架設準備



高さ10mの幹に巣箱を架設

今年7月29日、筆者は韓国・忠清南道の道都である大田のワールドカップ競技場で、東アジアサッカー大会の「日本対北朝鮮」の試合で、思いもよらぬ体験をした。それは試合に先立ち日本の選手の紹介や「君が代」が演奏されると、会場内から一斉にブーイングが起こったからである。ところが、北朝鮮の選手の紹介や北朝鮮の国歌演奏には、万雷の拍手と歓迎のシュプレヒコールが沸き上がった。そして、まさかのことであったが、目前で北朝鮮の選手が日本側にゴールを決めると、会場はウェーブが起こり、韓国の観客は歓喜の坵塙と化したのである。

永年、北朝鮮問題を研究対象としてきた筆者には、会場内における韓国の観客のといったこれら一連の行為を、理解することができず、とまどってしまった。韓国と北朝鮮は未だに「休戦」(または停戦)状況にあり、北朝鮮の国歌演奏などあり得ないはずであり、朝鮮戦争では多くの人命被害と国土の分断をもたらした、敵対国歌ではないのか。それなのに韓国の観客は北朝鮮チームを、自国のチームのごとく応援し、日本選手の一挙一動にはブーイングで応えるのであった。

今年は日韓正常化40周年で、両国政府は「日韓友情年」と位置づけて、両国間のさらなる人的往来を促している。たしかに、現在日本と韓国間には24の都市から、定期航空便が飛んでおり、羽田—金浦間は日韓の四つの航空会社が一往復していたが、今度は二往復に増便され、日韓は「一日経済圏」となり、ビジネスマンには国内出張と同じような地理感覚となり、歓迎されている。

しかし、日韓が時間的には「近くて近い国」になっても、最近の韓国

戦後60年、近隣諸国の対日感情と理解の現状 ——「反日愛国」と「親北」の韓国の現状に鑑みる——

山梨学院大学
経営情報学部教授

宮塚利雄

における対日感情と認識は、これとは反対にマスコミや若者世代を中心に、大きな溝が生じてきている。ことの発端は島根県議会が竹島の領有権を宣言したことにあるといわれているが、問題の根はもっと深く、行き着くところは韓国や中国、北朝鮮の教科書などが過去の歴史、特に日本植民地時代の実態をどのように教えており、マスコミが現在の日本をどれだけ実態に則して伝えているかということになる。

8月15日を前に、韓国・ソウルの中心部にあるソウル市庁舎は、建物全体が韓国の国旗(太極旗)で包まれ、市民の目を引いた。一方、中国でも15日から9月3日の「抗日戦争勝利記念日」に向け、「抗日戦争勝利六十周年」キャンペーン一色で染まっている。中国各地では中国政府の資金援助による、「抗日記念館」が新設ま

たは拡充されており、山梨県と姉妹関係にある四川省には、民間の抗日記念館としては最大級の「四川建川博物館」が省都の成都に開館し、ほかにも南京市には「日本戦犯裁判記念館」が、湖南省・常德市には「細菌戦被害者記念館」、黒竜江省・チチハル市には「旧日本軍毒ガス被害記念館」が新設した。

北朝鮮は、日本支配から解放60周年にあたる今年は、「光復六十周年記念・自主平和統一のための八・一五民族大祝典」へ参加するために、韓国に北朝鮮の対南工作の責任者である金己南・朝鮮労働党書記を団長とする、代表団を韓国に派遣した。そして、滞在中に反米発言は行わなかったが、日本については8月15日に、旧西大門刑務所跡を訪問した時に、歴史問題などで日本を激しく非難する特別声明を韓国側と共同で発表している。

最近、韓国と中国の歴史教科書が日本をどのように伝え、日本植民地時代をどのように記述しているのか、ということが話題となり、これらに関する多くの書物が出ている。しかし、北朝鮮の教科書についての言及はない。これは北朝鮮の教科書の入手が極めて難しいということにもよるが、筆者が入手した北朝鮮の小学校1年生の国語の教科書には、日本人ではなく「日帝野郎」「倭奴」などと紹介され、「日本地主野郎」「日本巡査野郎」も登場する。これでは、まともに「日本」と「日本人」を理解してほしいと願う方が、無理なのかもしれない。「隣国との友好・親善関係」の維持とは、文字や言葉で言うことはやさしいが、日本をとりまく隣国の日本を見る目と、現実の世界はもっと厳しいことを、われわれは理解しなければならない。

「ダイヤモンド工具と聞いて、どんなものかすぐに思い浮かびますか」と笑顔で話し始めたのは、山梨旭ダイヤモンド工業株式会社の大串守社長。イメージは浮かぶが、説明するとなると難しい。話を伺ってみると、ダイヤモンド工具は生活のあらゆる場面で使われ、産業や文化の発展にも欠かせない重要な工具である。今回はそんなわたし達の生活を支えているダイヤモンド工具を製造している企業を訪ねた。

時代が変わっても 求め続けられる工具

ダイヤモンドは知っての通り、地球上に存在する何よりも硬く、耐摩耗性など優れた特性を持っている。その特性を生かしたダイヤモンド工具は研削、切削、切断などさまざまな工具に使われている。道路の切断や溝入れ、自動車ガラスのカットや眼鏡レンズの研磨、注射針の成型など、その活用場面は限りない。

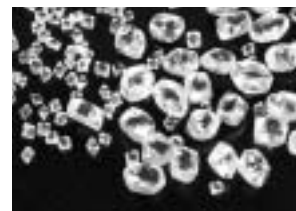
旭ダイヤモンド工業の子会社である山梨旭ダイヤモンド工業は、さまざまな場面で使われている工具を手掛けている。その技術力は高く、天然ダイヤを使った切削工具は、旭グループでもここでしかつくっていない。また「レジンボンドホイール」といわれる自動車部品などの製造に使われる回転砥石は、山梨旭の主力製品で、日本の基幹産業である自動車業界を力強く支えている。「最近では信号機が発光ダイオードを使ったものによって変わってきていますよね。その発光ダイオードを切削するにもダイヤモンドが使われているんです。ダイ



● 山梨旭ダイヤモンド工業 株式会社 ●

1970年9月甲府市にサンダイヤモンド工業(株)設立。76年に韮崎市に移転し山梨工場を建設。77年に甲府工場を閉鎖、その後生産の拡大に伴い山梨工場を四期にわたり増築。86年4月に社名を「山梨旭ダイヤモンド工業株式会社」に変更。88年9月に本社工場を韮崎市に移転。年商(2003年4月～04年3月)は25億6千万円。従業員数は約140人で、ほとんどが山梨県出身者。

〒407-0031
韮崎市竜岡町若尾新田800
☎0551-22-7501・FAX0551-22-7069



山梨旭ダイヤモンド工業 株式会社

ヤモンド工具の用途は広く、時代が変わってもなくなることは考えられません」と大串社長。

ニーズは限りなくあるが、一方でダイヤモンドには限りがある上、とても高価なもの。それほどの需要にこたえるために、やはり人造ダイヤモンドが多く使われているという。人造ダイヤモンドは使い道に合わせて、切れ味や耐摩耗性など特性を重視したものを開発できるという利点があり、価格も抑えられるという。

業界最大手の 確かな開発力、技術力

ダイヤモンド工具業界は現在、60社以上が協会に加盟していて、その年間売上高は900億円から950億円といわれている。旭ダイヤモンド工業は連結ベースの売上高が350億円で、全体の約4割を占める業界最大手。年間売上高5千億円といわれる世界市場でみても、一位の売り上げを誇る。「ダイヤモンド工具メーカーはヨーロッパにもアメリカにも多くあるんですが、ホイールだったらホイールのみを扱う専門メーカーが多いんです。うちのグループのようにダイヤモンド工具全般を扱っているメーカーは少ないですね」。あらゆるニーズにこたえられるのは、確かな開発力、技術力を備えている証だろう。

「これからは山梨旭独自の製品をさらに増やしていきたいですね」と語る大串社長。既に生産技術部が新たな製品開発に向け動き出しているそうで、山梨旭ダイヤモンド工業のさらなる発展が期待される。



グリーンヒル愛宕 宅地分譲 第3期販売

 **金手駅まで徒歩9分**

 **バス停まで徒歩12分**

「城東一丁目」・「市立図書館入口」
石和方面へは「市立図書館入口」バス停が、
甲府駅へは「城東一丁目」バス停が便利です。

**温泉・上下水道・
都市ガス・CATV 完備**

我が家で、湯治を。 

当分譲地には、51.3度の温泉が湯量も豊富に湧出しています。泉質は弱アルカリ性。医学的にも治療効果の高い療養泉に分類され、神経痛や筋肉痛に効果があるほか、冷え症・慢性皮膚病・動脈硬化症などにも良いとされています。古くから湯治場に行き、病氣や怪我を治療するなどされてきましたが、ここでは自宅に居ながらにして湯治することができます。宅地はひな壇状に造成されていますから、プライバシーが確保しやすく、甲府盆地や富士山の見える位置にお風呂がある間取りも可能。雄大な景色を眺めて心までリフレッシュできます。

(注)土地購入者は、グリーンヒル愛宕住宅管理組合へ加入していただきます。温泉は住宅管理組合より配湯されることとなります。(組合費用別途要)

- 泉質：ナトリウム・塩化物・硫酸塩泉（低張性弱アルカリ性高硫酸）
- 浴用の適応性：神経痛・筋肉痛・関節痛・五十肩・運動麻痺・関節のこわばり・打ち身・くじき・慢性消化器病・痔疾・冷え症・病後回復期・疲労回復・健康増進・アレルギー・やけど・慢性皮膚病・虚脱児童・慢性婦人病・動脈硬化症
- 飲用不可

 **眺望の素晴らしさは、夜にその魅力をいっそう輝かせます。**

270度のパノラマが広がる景観は、まさに絶景。街の灯りが輝きを増す夜もまた、息をのむほどの美しさ。宝石を散りばめたような光景が広がり、遠く中央自動車道が流星のように走ります。

 **四季を身近に感じながら暮らす、健康的なナチュラルライフ。**

周辺を歩くと、木々や草花たちが季節ごとに多彩な表情で語りかけてきます。桜並木が美しい春。夏は葡萄が艶やかに実り、秋には紅葉が周囲を赤く染め上げます。季節がめぐるたびに、自然と暮らす心地よさがいっそう感じられることでしょう。

 **区域内最大8m公道。各区分に駐車スペースも確保。**

都市部においては、駐車スペースの確保も困難なのが現実です。甲府都市計画区域内市街化区域、また第1種住居専用地域である当地は、新しい街づくりのプランのもと、街区全体が広々としたゆとりの設計。道幅は最大8m、最小でも6mを確保し、さらに緑道も設置しました。駐車スペースもビルトインガレージのほか、ひな壇造成地のメリットを活かせば、さらにスペースプランが広がります。

 **強固な地盤に堅牢な石垣を配し、美しい街並みを形成。**

全区画に重厚で高級感あふれる石垣が施され、緑線の坂道に石垣模様が美しく調和。風格と気品に満ちた美しい佇まいを醸し出しています。また、分譲地全体が強固な岩盤の上に造成されています。

 **緑ゆたかな公園を各所に整備。**

自然景観への配慮と、緑を大切に開発コンセプトに基づき、総面積約12万㎡（約36,000坪）の広大な敷地のなかでゆとりある上質な環境を実現しています。全区画に植栽を配置し、1,000㎡以上の公園を3ヵ所に整備。通りに沿って続く植栽の緑と、四季折々の花が街区全体にやすらぎをもたらしています。

サークル訪問

汗で育つ 感性が光る
街にめばえる文化探訪

地元で愛され、海外でも活躍している甲斐市の和太鼓衆

太鼓を通して 人として大切なものを 学びたい

信玄太鼓保存会



甲斐の武将武田信玄が築いた信玄堤。その信玄堤に、力強い太鼓の音が響き渡る。演奏しているのは甲斐市の和太鼓衆「信玄太鼓保存会」。その音は、信玄の名にふさわしく、頼もしく力強く響き渡る。

信玄太鼓保存会は旧竜王町の青年団によって昭和56年に発足。当初は和太鼓は初めてというメンバーばかりだったが、みんなで一から勉強し、その活動の場を広げてきた。

現在のメンバーは園児から40歳代までの50人。約半数が子どもたちだ。毎週2回、信玄堤にある甲斐市の施設を拠点に練習を重ねている。「太鼓は礼に始まり、礼に終わる世界なんです」と教えてくれたのは代表の中込雅仁さん。なるほど、集まっ

た子どもたちはみな大きな声であいさつし、返事も姿勢も気持ちいいほどまっすぐだ。

信玄太鼓保存会は演奏している曲のほとんどを、メンバー全員で作っている。1人が基本となる音を作り、それを太鼓を鳴らしながら全員で色づけしていく。「自分たちの手で1曲1曲つくり上げているので、曲に対する思い入れや愛着が強く、それが演奏に生きていくのだと思います」と中込さん。練習しながらさらに色づけするので、完成することはないというが、その飛躍し続ける曲こそ

信玄太鼓保存会の魅力なのだろう。

地元甲斐市や近隣の市町村の祭りなどで活躍している保存会だが、5年ほど前には海外遠征も経験している。旧竜王町の姉妹都市である米・アイオワ州で開かれた「世界ドラムフェスタ」に出演。アフリカやイギリスなど8チームと共演した。「演奏後のスタンディングオベーションは忘れられません。各国の人と共演もでき、とても勉強になりました」。

そんな経験も生かしながら、今後ますますその活躍が期待される信玄太鼓保存会。中込さんは「太鼓はみんなでカバーしあい、助け合うことでいい演奏ができる。そんな太鼓の演奏を通して、みんなが人として大切なものを学んでいけたらと思います」と語る。気持ちがなければいい音は出ないという太鼓。信玄太鼓保存会が打つ太鼓の音からは、メンバーみんなの熱い思いがしっかりと伝わってくる。



小さな子供には基本から



本番に向け、練習にも熱が入る

◆信玄太鼓保存会◆

甲斐市の旧竜王町を拠点に和太鼓の演奏活動を展開している。練習は毎週月、水曜日の週2回。毎年甲斐市の夏祭りなどの舞台に立っている。10月9日に行われる甲斐市の「ドラゴンフェスタ」にも出演予定。

問い合わせ 代表 中込 雅仁
連絡先 〒400-0114 甲斐市万才270 ☎055(279)3698



株式
会社 **早野組**

本社 ■〒400-0807 山梨県甲府市東光寺一丁目4-10
TEL 055-235-1111 (代) FAX 055-235-1109
●リニューアル部…… TEL 055-232-0200
東京支店 ■〒193-0835 東京都八王子市千代町2-5-24
TEL 0426-67-8800 FAX 0426-67-9497

中部支店 ■長野県飯田市鼎中平2821-1
TEL(0265)22-3969 FAX 52-2171
静岡営業所 ■静岡県静岡市南町5-17
TEL(054)284-3808 FAX 284-3919
岐阜営業所 ■岐阜県土岐市泉梅の木町1丁目32
TEL(0572)55-2834 FAX 55-0817
南アルプス営業所 ■南アルプス市小笠原1355-5 MSCビル2F
TEL(055)280-3187 FAX 280-3189
神田営業所 ■東京都千代田区神田神保町2-4 水戸興産ビル4F
TEL(03)3230-7005 FAX 3230-7006

ISO14001 ISO 9001
認証取得 <http://www.hayano.co.jp>

夫の転勤に伴い、3年間の甲府生活を経て、6月より浜松の住民となりました。甲府同様、静岡に住むのはじめてで、知り合いが全くいないスタートとなります。転勤族というのは自分の意に関係なく、突然、しかも決まればすぐに異動しなければなりません。落ち着かないものです。日本各地を観て歩けるメリットがあるものの、子供を連れての引越しは予想以上に大変なものでした。しかしながら、子供が未だ小さく手もかかり、目が離せないことから、引越前後も今までとほとんど同じペースで散歩へ行き、昼寝をさせ、寝ている合間に用事をすますという日々を送ってきました。

そして現在も、思い立ってしばし山梨の行き慣れた場所へ行き、同じ生活ペースで過ごす時間を大切にしています。これはもちろん気分転換もありますが、息子に記憶にしっかりと留めておいて欲しいという願いもありました。転勤族である息子は、これからも数々の土地での出会いと別れを経験することでしょう。そのたびに一通過点として土地を去るのではなく、土地との出会いを大切にしたいのです。その中でも山梨は、息子が産まれ幼少時代育った場所。「三つ子の魂百まで」というように、幼少時培った感覚は、身体に染み付いているのではないかと感ぜずにはられません。

山梨に住み始めた子供の居ない当時は、ワインと温泉を中心に、山梨でしか味わえない、お酒落で質の良い暮らしをしよう!などと意気込んでいました。気付くと山梨での生活は、美味しいワインはもちろん身近

～Seasons Yamanashi～

里の味

エッセイスト
深谷百合苗



にあったものの、ワインを含めた、子供と共に過ごす自然であり、心地よい環境が興味の中心となってゆきました。子供の視点で物事を観るほど、よい素材や本当に美しいものに食欲になります。季節の流れと共に変わりゆく自然の色、音、香り、温度、味等、ともすると見過ごしてしまう事ばかりに目を奪われ、感動した日々。季節は見つけるものではなく、やっ



てくるものなのだ、という当たり前の感覚も日頃の散歩を通じて実感しました。

ふと私の脳裏に、「里の味」という言葉が駆け巡ります。子供を丈夫で健康に育てる為に、毎日散歩をし、地元の旬の産物を探して食すという、単純な生活全てに「里の味」を感じるのです。かつて北海道出身の父が田舎からジャガ芋が送られてくるたびに、「故郷のジャガ芋が一番美味しい。」と言う姿をみて、「他のだって美味しいのに」と思ったものでした。山梨に住み離れた今、父の気持ちがよく解るようになり、山梨からあれこれ取り寄せたりしています。

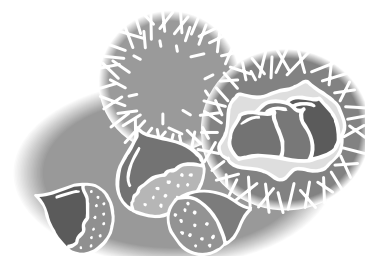
山梨で出会い、今では家族同然のおつき合いをさせていただいている、蔵元のお母さんの作る季節の煮物に、出汁のきいたお茶漬け、そして梅干し。ここには私の中での山梨の里の味がぎっしりと詰まっています。日常のもっとも慣れ親しんだ場所、人、食が、山梨を離れた今、私達の大切な里の味とを感じる今日このごろです。

寿命山 昌福寺 虫切加持

昌福寺は増穂町青柳にある日蓮宗久遠寺の末寺。永仁6年(1298)日全の開山といわれています。12代一道院日法上人が、京都の霊元天皇の重病を加持で治したといわれ、

その後、虫切加持、御礼の秘法が今日までずっと伝えられてきました。現在、虫切加持は春と秋のお彼岸に行われ、加持祈祷は虫切り加持堂で子供の手のひらに朱で秘法の文字を書いて行われます。特に、幼い子供の癩の虫封じに御利益があるといわれています。県外からも人が訪れるなど、大勢の参拝者で賑

わいます。その他、お寺では珍しいコンサートなども開かれています。



ふるさとの祭り (10月～3月)

ちょっと行ってふるさと感じてください。
他にもたくさんの祭りがあります。

10月

- 『甲府大好きまつり(甲府ウィーク)』
10月第1土曜日 甲府市駅前周辺
- 『箕輪新町金刀比羅神社例大祭』
1日 北杜市高根町箕輪新町
- 『武田八幡宮祭典』
10月第2日曜日 韮崎市神山市北宮地
- 『諏訪神社祭』
9日 山梨市三富徳和
- 『身延山お会式』
12日 身延町身延山久遠寺
- 『賀茂春日神社祭(春日さん)』
15日 笛吹市春日居町加茂

11月

- 『大根まつり』
3日 北杜市明野町浅尾
- 『琴平さん』
11月中旬 南部町福士・万沢
- 『高尾山の夜参り』
11月第4日曜日 南アルプス市高尾(旧櫛形町)

12月

- 『内船子供歌舞伎』
12月第1日曜日 南部町内船

1月

- 『大藤の籠馬』
7日 塩山市大藤

- 『山田の神楽獅子』
13日 市川三郷町落居(旧六郷町)
- 『厄除地蔵』
13日 笛吹市御坂町上黒駒
- 『ドンド焼き』
14日 各地
- 『長塩の小正月』
14日 身延町長塩
- 『塩平の獅子舞』
14・15日 山梨市牧丘町塩平
- 『塚原の獅子舞』
15日 甲府市塚原町

2月

- 『一の酉祭典』
第1日曜日 市川三郷町上野(旧三珠町)表門神社
- 『美和神社の湯立て祭』
8日 笛吹市御坂町二之宮 美和神社
- 『厄除け地蔵尊祭』
14日 甲府市湯村3丁目

3月

- 『くもの巣祭り』
3月第1日曜日 南アルプス市西吉田(旧櫛形町)
- 『神部神社祭礼』
14日 南アルプス市寺部(旧若草町)
- 『天神中條天満宮例大祭』
25日 増穂町天神中條

☆市町村名はH17.10.1現在のものです。
開催日は事前に確認してください。

INFORMATION

環境事業部 発足

近年、環境に関する社会的関心が増してきており、企業活動を行う上で環境への配慮は必要条件となってきました。省エネ・省資源建築、屋上緑化などの地球温暖化関連事業、あるいは、土壤汚染対策法制定に伴う土壤汚染浄化など、地元最大手建設会社として幅広い顧客との取引がある当社としては、今後新規環境関連法規制の制定や環境配慮型社会の構築の流れから自然的に環境関連顧客ニーズ発生が予想され、積極的に取り組まねばならない事業であると考えられます。そんな背景から環境事業部が発足いたしました。

1. 職務分掌 『環境関連法規制に伴って発生するものを主体とした環境事業の研究・営業・工事の総合監理』
2. 活動方針
 - 1) 前期：6月～10月
 - 主力事業分野（ターゲット）の特定
 - 調査検討事項：補助金制度、（顕在及び潜在）需要、営業ターゲット、社内体制

●ターゲットが特定された顧客への営業活動

●現時点で検討対象としている分野

・建設業と密接に関係する分野として
 土壌・地下水汚染浄化
 屋上・壁面緑化（技術部連携）
 コンクリート劣化補修（技術部連携）
 新エネルギー関連（太陽光発電、風力発電、小規模水力、バイオマス）（設計部連携）
 アスベスト処理（建築工事事務連携）
 森林保全（土木部連携）

・建設業と関係の薄い分野として
 廃棄物処理（一般廃棄物含む）

2) 後期：11月～5月

●今年度の主力営業分野を絞り、営業活動を推進する

（株）早野組 本社：甲府市東光寺1-4-10 TEL055 - 235 - 1111
<http://www.hayano.co.jp>

こんなにカワイイ特別仕様車見たことないヨ キュートなヴィッツ発売中

フルモデルチェンジされた「ヴィッツ」をベースにネットトヨタ甲斐だけのオリジナル特別仕様車「ヴィッツキュート」。

フロントグリルにオープンハートの専用エンブレム、おしゃれのポイントである足元にもハートをモチーフにしたキュートなデザインのアルミホイールを装着している。

「ヴィッツキュート」の他にも「ヴィッツ・スポーティ」「ヴィッツ・スマート」といったネットトヨタ甲斐だけで購入できるオリジナル特別仕様車を多数ラインナップしている。



ネットトヨタ甲斐(株)
 本社：甲府市朝気3丁目10 - 21 TEL055 - 232 - 5511

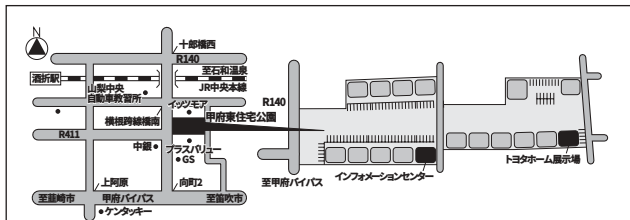
甲府東住宅公園展示棟7月31日よりオープン!!

甲府東住宅公園内に当社モデルハウスが新規オープン致しました。高級感のある安心・安全なトヨタホームを、ぜひ一度ご覧下さい。

建物概要

- シンセレゾンG
- 1階132.71m²（40.14坪）
- 2階110.05m²（33.29坪）
- 延床242.76m²（73.43坪）
- 主な仕様 太陽光発電システム搭載
 各種防犯仕様
 1F外壁タイル仕上（ライトクリスタボーダー）

■ 甲府東住宅公園 ご案内図



お問い合わせ先 TEL055-220-1170 FAX055-220-1171

トヨタホーム山梨(株)
 本社：中巨摩郡昭和町河西1043 TEL055 - 275 - 1234 FAX055 - 275 - 7806
<http://toyotahome.mediagalaxy.ne.jp/yamanashi>

INFORMATION

ゆとりある輸送計画のお願い

大型トラックは、スピードリミッターの装着が2003年9月から義務付けられました。（車輛総重量8トン以上又は最大積載量が5トン以上）

スピードリミッターは、法定速度の遵守のための装置で、装着車は90km/hを超えて加速できません。このため輸送所要時間への影響等が予想されますので、出荷手続きは早めをお願いします。

スピードリミッターの装着義務付けは、適正速度を遵守させ、事故の防止や環境負荷低減を図るための規制です。無理な輸送計画は、休憩時間の短縮や連続運転時間の長期化による過労運転が生じることとなり、安全な輸送への支障をきたします。ゆとりある輸送計画へのご理解、ご協力をお願いいたします。

いたします。

効果その1 事故の防止

高速道路の大型トラックによる死亡事故につき、20～40%低減が可能

効果その2 環境効果

軽油の消費量や二酸化炭素の排出量を抑制でき、環境負荷の低減に効果的。

甲府通運(株)
 本社：中巨摩郡田富町流通団地3329 - 1 TEL055 - 273 - 0611

この標識知ってる？

「総重量限度緩和指定道路」と「高さ限度緩和指定道路」を示すものです。

貨物輸送の効率化・円滑化を目的として、総重量20tを超える車両や、高さ3.8m超4.1m以下の車両が走行できる道路が指定されるようになりました。この標識は、対象車両が適切に指定道路を走れるように案内するものです。



信号に取り付けられていて交差点の名称を表示しているものですが、ほぼ一斉に茶色い楕円形に変わりました。観光振興を重要政策として位置付ける山梨県が、英字表記の見直しや統一化、景観に配慮しかつ見やすい材質などを検討し、交差点名標識の取替を行ったものです。 今後は、観光地を案内する標識の整備も計画されています。

（株）ロードでもこれらの標識工事を施工し、わかりやすく円滑に目標地点を案内する標識の充実に貢献しています。



（株）ロード 本社：甲府市下小河原町262番地 TEL055-241-6161(代)
 FAX055-241-6118 e-mail uproad@pluto.plala.or.jp

介護保険外のおまかせサービスをご利用ください。

平成18年4月より、介護保険制度が改正されます。介護保険が使えなくなって困ってしまうという方、また介護保険のサービスだけでは、質・量とも足りない方、おまかせサービスをご利用ください。

サービスメニューとして、おまかせケアコース・おまかせ家事コース・おまかせタクシーがごさいます。左記にて気軽にお電話ください。介護保険を使わない自費でのサービスとなります。



料金表（1時間あたり）

おまかせケアコース 2,100円（税込）
 おまかせ家事コース 2,100円（税込）
 おまかせタクシー（乗降介助1回あたり） 1,050円（税込）

時間 8:00～18:00 時間外は25%割増
 ※ 医療行為や危険が伴う行為は出来かねます。

電話 055-231-6633 <<本部>>

（株）やさしい手甲府
 本部：甲府市青葉町14-15 TEL055 - 231 - 6633

政略結婚にもてあそばれ
子供達とも引き離されて
故郷で空しく死んだ人

武田信玄の長女 黄梅院

(おうばいいん)

上野 晴朗

うえの はるお
1923年山梨市生まれ 歴史家・作家
県立図書館郷土資料室を経て67年から
文筆活動に入る 著書に「甲斐武田氏」
等多数



わずか12才で北条氏政に嫁した黄梅院の
安産健全を祈る晴信(信玄)の文書
(弘治3年11月)



双葉町黄梅院旧蔵の不動明王像
信玄がわが子黄梅院に与えたものという



永禄9年5月、信玄は黄梅院の無事出産を再び祈願した



妙法寺記にのる、信玄の長女黄梅院が北条氏政に嫁した様子(天文23年の記録)

小田原の北条氏政のもとに政略結婚で嫁がされた、武田信玄の娘黄梅院は、母は三条夫人である。黄梅院は名前は明らかなではないが、天文12年(1543)の生まれで、三条夫人はそのあと、見性院^{けんしやういん}天文13年(1544)と、真龍院^{しんりゅういん}天文14年(1545)の娘達を生んでいる。

この三人はそれぞれ政略結婚で、黄梅院は小田原の北条氏政に、見性院^{けんしやういん}は河内の穴山信君(梅雪)に、真龍院^{しんりゅういん}は木曾の木曾義昌に嫁がされている。

そのうち結果的に一番不幸に襲われたのは長女の黄梅院であった。わずか12歳で嫁がせられ、初産と二度目は母体が弱く死産、その後嫡男氏直が永禄5年(1562)に生まれている。そして同7年ころ二男氏房が、

永禄9年に三男直重が誕生している。これで見ると黄梅院は、結婚当初から十数年間は、氏政との関係は平和そのもので、また幼女の結婚を氣遣う信玄夫妻の愛情も強く、残されている資料の中にそれが滲んでいる。氏政との結婚の約束が取り交わされたのは、天文22年(1553)正月、まだ11歳を迎えたばかりのときであった。高白斎記を見ると、「天文二十二癸丑、二月廿一日戌ノ刻来ル甲寅ノ年小田原へ御興入レラルベキノ由、晴信公ヨク御誓句、氏康ヨリノ御誓句ハ去ル正月十七日ニ来ル」とあって、やがて天文22年12月、盛大な御興入れが行われたのである。

ところが黄梅院は宿命というべきか、悲劇的な運命にもてあそばれて、終生を呪われてしまったのである。

氏政に嫁した12歳の夫人は、弘治元年(1555)13歳ですぐ懐胎し、11月男子を出産したが、産児はすぐ夭折^{ようせつ}してしまった。母体がまだ未熟だったのである。

夫人は弘治3年(1557)、15歳で二度目の懐胎をしているが、この子もその後の生命は明らかではない。こうして記録を追うと、夫人の子供は嫡男の氏直が永禄5年(1562)誕生、同年7年ころ二男の氏房が生まれ、永禄9年(1566)三男直重がその腹から誕生している。

従って子供運には、最初から不幸だったわけではなく恵まれた方なのである。父信玄もまた愛娘の安産を願って、二度も富士御室浅間神社に願文を捧げている。写真にかかげたものがそれで、わが娘を思う情愛がにじんでいて心打たれる。とくに母親の三条夫人の思いは切なかったらうと思う。

こうして黄梅院は未熟な体ながら26歳までに、実に6人の子供を生み、そのうち4人が無事成長した。三男直重のあと、四男氏定もこの夫人の子供であった。

ところが甲駿相の三国同盟は永禄11年(1568)に完全に決裂、崩壊に向かってしまい、信玄が駿府を占拠、今川氏真に娘を嫁がせていた北条氏康は怒り心頭に発して、その報復措置として氏政に命じ、黄梅院をただちに離縁して甲州に帰してしまうよう命じた。氏政は夫人を心から愛していたので、幼児が4人も残されていたのであるから、父の措置を不服として抵抗したようであるが、

その個人の意志など全く通じない時代であった。

突然甲斐に帰された氏政夫人は、こうした女性の宿命であるけれども、すぐ剃髪して尼になってしまった。甲府・大泉寺の安之玄穩^{あん しげんおん}が尊師にえらばれた。法諱^{ほうき}は宗芳、雅号は春林、法号が黄梅院であった。

しかしいくら剃髪して宗芳尼になったからといって、愛する者に生身で引き裂かれてきた身であるから、すぐさま悟りが訪れるというものではない。むしろ毎日のように泣き明かし、運命の苛酷さを呪って、子供達を思う怨言^{うらみごと}が胸一杯に脹らんでいっ



旧黄梅院本尊の地藏菩薩



黄梅院の墓 双葉町黄梅院跡

たろうことが想像できる。

こうして、その口に出しきれない鬱積^{うっせき}した怨念が、次第に夫人の身をさいなんで、寿命を縮める結果に陥り、わずか半年も経たない永禄12年(1569)6月17日、氏政夫人はこの世を去ってしまったのである。

武田信玄は非情な政略結婚にもてあそばれて死亡してしまった、この不幸な息女のために、巨摩郡竜地に菩提寺を建てて、黄梅院と名付けてその亡骸^{なきがら}を葬ってやった。

法号は黄梅院殿春林宗芳大禅定尼という。なお、高野山高室院の「北条家過去帳」をみると、「相州太

守氏政御前様、黄梅院殿春林宗芳大禅定尼 永禄十二年六月十七日」と記録されている。これはいうまでもなく、夫君の北条氏政の配慮であって、氏政は甲相同盟が復活すると、甲斐で死んだ亡き妻の霊を小田原へ迎え、箱根の早雲寺に塔頭の黄梅院を聞いて、甲斐からの分骨として葬ったのである。

私は何度も双葉町竜地に入っているが、寺は勿論今は存在せず、黄梅院の墓所だけが残っている。竜地には黄梅院の子安地藏尊というのも残されている。木彫であり、漆に箔をおいた黄金仏で、胸の中央に嬰兒を抱いており、室町末期の作品であって、黄梅院建立のとき本尊として祀られていたものだという。

そこからは信玄夫妻の長女急逝への愛惜がにじんでいて胸を打たれる。さらに竜地には黄梅院旧蔵を伝える不動明王立像というのも残されている。伝えて

は氏政に嫁した頃の娘に与えられたものだと言われており、真っ赤な火炎を背景に剣を右手に持ってすくと立っており、不動としては若々しい姿の立像で、そこからも、信玄の娘によせる愛情が強く匂ってくる。

こうして残された史料を見ていると、政略結婚というのは、人間の常識や人智をこえたものであって、不気味なほどに露骨で非情さをもっているが、そこからはまた、運命を呪い、怨念がふくらんでいった夫人の涙がよく理解できるのである。甲斐に帰されて僅か半年で世を去った夫人に思いを寄せてほしいと思う。

20世紀の巨匠に

ジャクソン・ポロックという名前を聞いて、ああ、絵の具を筆でキャンバスに滴らせて絵を描くアーティストね、と答えられた人は、相当な現代美術通である。実はポロックの作品は美術の教科書にけっこう掲載されていることが多いので、案外、子どもたちのほうが知っていて、子どもによっては美術の先生が授業で、ポロックの真似事をさせてくれた体験をもっているかもしれない。ポロックの絵画は、ある意味では子どもにもできそうなアートなのだ。いや、もちろんそうではないのだけれど、できそう、と思ってしまうような微妙なアートなのだ。

そして、そういうアートでポロックは、20世紀のアメリカでもっとも有名な画家となり、ピカソやマチスと並んでモダニズムの殿堂にコレクションされているのである。

シャーマンとしての画家

さて、そんなポロックのアートとはどんなアートなのか、まずは図版を見ていただきたい。

ドリップ・ペインティングと呼ばれるこの描き方は、床にキャンバスを敷いて四方八方から絵の具を筆で滴り落とすという手法で描かれた。絵を描く場合、キャンバスには木わくがついているものであり、それをイーゼルに置いて座って描くというのが普通のスタイルだ。もちろんポロックもそういう描き方をしてきた。シュールレアリスム的な描き方(超現実的な世界を描く)や、プリミティヴィズム風の描き方(アフリカの民族

ボクの美術品観察日記

ジャクソン・ポロック
《鍊金術》1947年制作

アルコール中毒と
ドリップ・ペインティングと交通事故

山本育夫

26

ミュージアム・マガジン・ドーム(DOME)編集長／アートマガジン・エル・アール(ER)編集長／まち「見物」誌ランデブー編集長／特定非営利活動法人つなぐ代表理事
中央公論 美術手帖 週刊朝日などに執筆、大学や美術館などでの講演も多数、美術品観察学会のメーリングリスト主宰。参加希望者は yanahku@mh.messe.jp まで、参加費無料。

美術のような描き方)が好評を得ていた時期もあったのだ。

ところがポロックはこうした「シャーマンとしての画家」というイメージを、アルコール中毒という代償により得ていたのだった。

ペギーとの出会い

ときはちょうどルーズベルト大統領の時代。1929年からはじまった大恐慌時代のただなかでのこと。政

府はニューディール政策を実施した。貧しいアーティストたちのために公共事業促進局による連邦美術計画がスタートしたのもこのころ。ポロックは政府の建物に壁画を描く仕事に従事して生活の糧を得ていた。この時期、そういう仕事をして生活している自分自身に耐えられなかったのだろう。ポロックは極度のアルコール中毒に陥るのだ。そして4ヶ月にわたる入院期間中に、ポロックは前述したような絵を描いた。

後にグッゲンハイム美術館を設立することになるペギー・グッゲンハイムと出会ったのもこの時期で、ペギーはポロックのために何度も個展を開くなどして一躍ニューヨークで脚光を浴びることになるのだが、しかしなぜか評判は高くても作品はあまり売れなかった。

ハネ・ムーン時代のポロック

1945年秋、ポロックはリー・クラスナーという女生と恋に落ち結婚し、ロングアイランド島のイーストハンプトンに近い農家で新婚生活をスタートする。この島での生活はアルコールの誘惑から断ち切るための苦肉の策でもあった。そこでポロックは、いわゆる描く方法を捨てて、前述したような床にキャンバスを置いて「描く」ドリップ・ペインティングをはじめたのだ。

つまり、ドリップ・ペインティングは、アルコール中毒からの離別の描法でもあったということになる。そういう事実を知ってからポロックの絵を見ると、いろいろな思いが浮かんでくる。絵の具の滴りは、ポロックの手の動き、体の動きをほうふつとさせ

るし、重なりあう滴りの間からはさまざまなイメージが浮かんでは消えていくような気持ちになる。

盛り上がりったり沈みこんだり、錯綜する線描の中から思わぬ具象的なイメージが飛び出す。

大作の場合は見ている自分自身が絵の中にくるみ込まれてしまうような印象さえ受ける。仮面や人の顔や動物の姿、太古の記号などが画面の中

で渦巻いているような気もするのだ。

44歳で交通事故死

こうしてポロックは、独自のアートを見出すのだが、ポロックをアメリカの代表的なアーティストに押し上げたのは、皮肉なことに彼の交通事故死だった。

1950年の秋、ポロックの制作過程を写真家ハンス・ナムースが撮影す

る。おそらく緊張したのだろうがこの撮影がきっかけとなり、ポロックはまたしてもアルコール中毒に逆戻りしてしまい、その後は、作品も生彩を欠くようになり、あわせて妻ともうまくいかなくなり浮気をし、やがて妻は別居。ポロックはいっしょに住むようになった浮気相手と自損事故を起こし、死んでしまう。1956年のことだった。



納屋を改造したアトリエ



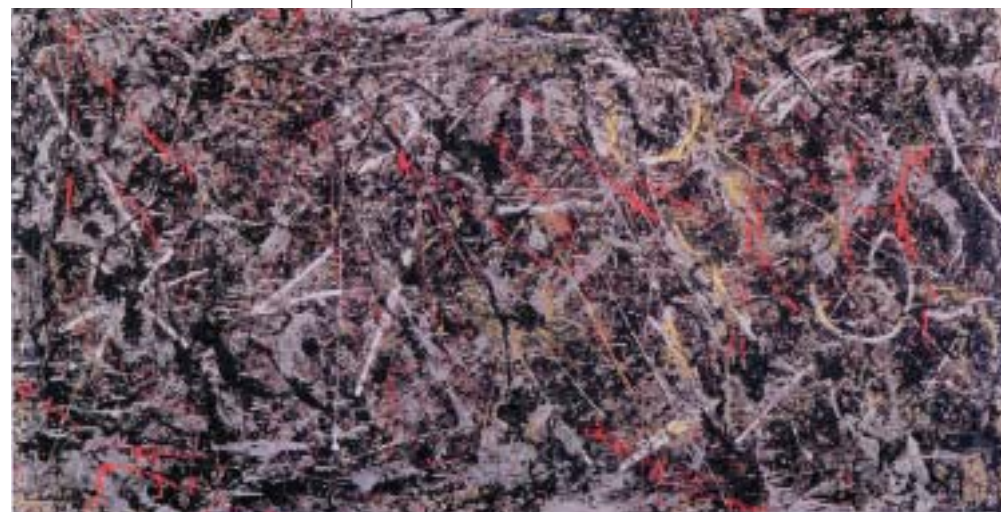
ポロックとクラスナー



制作風景



鍊金術部分01



ポロック鍊金術



鍊金術部分02

増村由児「生ありて食あり 食ありて生あり」は、「食」でつづる戦中・戦後史だ。著者は一九二六年に山梨の養蚕の村に生まれ、戦争で中国に出兵、敗戦後は収容所生活も体験している。幼い頃の山梨の食生活、戦争での飢餓をとおして「おいしいものを腹いっぱい食う、それこそ生きる証であり喜びだ」と、切実なメッ

に何回かで、正月、村祭り、お盆、年の暮れ、ときとして「不幸」があったときだった。貴重なおかずは「タクワン漬け」で、どの家でも発酵した糠に柿の皮などを入れて風味を出し、茎は浅漬けにした。「タクアンさえあれば、飯のお菜は要らない」というのが、貧しい農家の合い言葉であり、慰めだった。「トマト」が

こんなところに山梨
思いがけない場面で
ふるさと再発見

「真っ白い米の飯を、

腹いっぱい食いたい」

飽食の時代に回顧する

「食」の戦後60年

セージをこめる。
村の主食は「お麦めし」で、夜は手打ちの「ほうとう」であり、しかも麵よりもネギが多く、なんとかネギを減らしてもらおうと母親に訴える。と、「好き嫌いを無くしておかないと、他家に奉公に行った時、どうするのだ」と叱られたという。米が食えるのは年

村に入ってきたのは昭和五、六年の頃で「真っ赤な柿のようだ」と感じた。母親に差し出すと、鼻をつまみ「そんなもん食えん」と怒ったという。米の飯を食うのが夢だった。ある日、学校の廊下で「満州へ行けば、十町歩の地主になれる」というポスターが貼ってあった。大地主になれば、「食い物は豊富」だと、昭和十六年、満蒙開拓青少年義勇軍として満州に渡った。しかし、口にしたのは粟と高粱（カオリヤン）の混合食で、しかも、兵隊食器に八分目もなかった。敗戦後は収容所生活をし、八年間の炭坑生活を送る。兵隊達は食糧不足のなかで「日本にいつ帰れるか」とあてのない希望を語り、また「あそこの寿司は最高だ」などと、かなわぬ食物談義をしたという。

食べ放題と、残飯の今日の時代に「食」が人生の体験であるというのは、衝撃だ。

(寿)

増村由児「生ありて食あり 食ありて生あり」¥2000＋税
連絡先・055(235)3060

三分一湧水館

「水のセミナー」

講演録



普通の人でも水の問題が実感でき、さらに、話題ができ、少しばかり、知ったかぶりができる。これは面白い、というのを挙げてみたい。

①水は、水だけではなく、地層とか岩石との関わりで調べること、化学組織の違いが地下水・湧水・河川のみならず、動植物にまで反映されている。
②地球の表面の四分の三は水で被われているが、

飲料水として使えるのは二・五パーセント、また、その〇・三パーセントしか再生できず、この水資源は不平等に供給されている。西アフリカでは一日に十五キロも歩いて水を汲みにいく。③日本も水力発電をすることで、石油や輸入資源に頼らなくなり、大気汚染を防げる。雨水利用は貴重な飲料水を節約するだけでなく、大雨による洪水を防ぐ。④日本人は一日五リットルの石油を使っているが、エネルギーの消費を抑え、二酸化炭素を減らしていく必要がある。石油の埋蔵量も危機的状況だ。⑤飲み水を何処から得ているかというと、全国ではダム水と河川水で、地下水系は四分の一。ところが山梨は地下水系が三分の二で、全国ではダムの水位が命綱であり、山梨では天然の地下水湖に依存していることがわかる。

(川)

「水のセミナー」講演録
連絡先・三分一湧水館
電話0551(32)0058

お茶の間の民俗学

愛されて郷土に伝承される芸能を紹介

昇仙峡グリーンラインの、県営の駐車場を金櫻神社方面に急坂をあがった右側に、高成、竹日向方面の小さい道標がある。昇仙峡にはしばしば行くが、竹日向地区がどこにあるか知らなかった。車で五分も山道を上がると、左右に道が分かれて、左が高成地区、右が竹日向に続く。カーブを曲がると展望が開けて、険しい山裾に固まった集落が見える。鳥刺し舞が残ったのは、こういう不便な山間地であることも理由である。

ここには十数件の家があるが、半分は廃屋である。終戦直後は一〇〇人以上もいたという人口も現在は高齢者を中心に五世帯が住むという。かつては林業、炭焼き、蒟蒻栽培、養蚕などが中心であった。今は地区を離れて町に住む千野利雄さんに、千野蔭雄さんと、千野文雄さんに集まっていた。ここでは総てが千野姓である。



「鳥刺し舞」その①

劇作家 水木 亮

鳥刺し舞いが舞われたのは、最近では平成十六年の正月と夏に行われたという。それより前は一〇年以上前に、甲府市の社会教育センターで、甲府市の芸能が上演され、その時参加している。同じ頃みたけ文芸座でも上演しているが、ながく途絶えていた。残念なことに鳥刺し舞いを伝承していた千野貞智さん(昭和元年生まれ)が今年になって亡くなった。そこで伝承する人が居なくなってしまった。

そもそも鳥刺し舞(踊り)は、農民が大切な農作物を鳥たちに食べられてしまうことがないように、神に祈る神事儀式がもともとの出発で、害鳥を捕らえる様子が、次第に芸能化されたものである。

竹日向では小正月の行事として、「獅子舞」「おかめひょうとこ」「七福神」などと共にこの鳥刺し舞が行われる。厄年の人がいるとお祓(はら)いのために、また結婚式

でも余興として舞われる。「貞智さんはうまかった。鳥刺し舞が好きだった」蔭雄さんがいう。

その千野貞智さんは生前、鳥刺し舞や万歳、おかめひょうとこなど地区に伝わる行事の詞章集を残している。

鳥刺し舞の登場人物は「奴(やつこ)」と「兄」で、奴の言葉がほとんどである。これに太鼓一人と笛二人が付く。

「鳥刺し舞の言葉は覚えられるが、振りが難しいから」文雄さんが言う。

話を聞きながら、私はこの芸能がなんとか、継承できないかと考えていた。

(十月二十九日午後七時と、三十日午後二時に、南アルプス市の生涯学習センターあやめホールで、水木亮さんの主宰する劇団により、「黄昏岬」栄村集団自決の記録」が上演される)

やまなし・ふるさとの歌と芸能をたずねて



里山を象徴するワラビの紅葉と新雪の富士展望。棚横手にて

棚横手山という場合もあるが、正式には山がつかないように、ここははっきりしたピークを持つ、いわゆる山岳ではない。北にある宮岩山から、南西に延々と大善寺まで続く尾根上のひとつのこぶの地名なのである。

しかし富士の眺めは抜群だ。コースの状況もタイムも、のんびり歩くのに適したものであるから、秋の一日、身近の山道を辿って富士の観賞にかけよう。

勝沼ぶどう郷駅の北から山を目指す菱山深沢林道に入る。蛇行を繰り返して大滝不動尊の山門前に車を停める。山門から石段を登り、本堂の裏に落ちる大滝を眺め、右手の橋を渡って遊歩道に入る。小さなお堂を二つ見てスギの木立の中を登ると林道に出るので、左に進む。七、八分で右手に指導標がある。

雑木林の中を十分ほど登ると、もう尾根道だ。左へ登る。やや急な部分もあるが僅かな時間である。振り返ると富士が見える。やや平らな部分を通過し、あとひと登りでもう三等三角点のある頂上である。富士は南の御坂山塊の上に秀麗な姿を見せる。



【参考タイム】

勝沼ぶどう郷駅
↓(車20分)
大滝不動
↓(50分)
棚横手分岐
↓(30分)
棚横手
↓(25分)
分岐
↓(50分)
高尾山
↓(30分)
大滝不動

十月下旬から十一月初旬頃が紅葉との組合せで最高だろう。なお、三角点より一段先に進むと、更に展望のよい所がある。

帰路は往路をそのまま戻るか、分岐を通り過ぎて富士見台に登り、高尾山まで歩いて林道を不動尊山門前に戻るという方法もある。高尾山から見下ろす勝沼ぶどう郷駅と、ぶどうの丘付近の眺めは圧巻である。

甲府通運前史を訪ねる(26)

〈甲府通運のページ〉

平

成十七年の今年は「戦後六十年」ということで、それに関連する催物があった。敗戦は軍隊の消滅であり、兵士らが生活していた兵営がなくなることもあった。今回は甲府にあった歩兵第四十九連隊と早野組について記してみる。

明治三十六年(一九〇三)六月中央東線が開通し、甲府まで汽車が来る。これについては笹子トンネルの難工事に早野組の創立者早野金蔵の活躍があり、これにより鉄道と早野組との関連もできて、それが現在の甲府通運株式会社の一歩の基礎となったのである。

甲府まで開通した中央本線はさらに西に延び塩尻を経て松本、名古屋へ至るが、甲府市としてここで一つの問題が起きてくる。

甲府城跡地を利用して甲府駅と線路を設けた結果、甲府の町が南北上下に分けられたということである。明治期甲府の中心は現在の中央四丁目、旧柳町、三日町、桜町であり、線路で分断された北部は住宅地といわれたが南と北をつなぐ道路は鉄道でふさがれ、踏切(現在の朝日町通

戦後60年—消え去った甲府連隊 建設に力を見せた早野組



射撃場工事



第四十九連隊附近図

林 陽一郎

はやし よういちろう
甲府市教育委員会文化振興指導員
山梨郷土研究会

りのガードも踏切であった)で連絡するのみとなり、人の動きも両断され、甲府北部地帯の活性化が問題となって来た。

たまたま明治三十八年(一九〇五)日露戦争の戦後処理の一つとして出征強化した軍隊をどうするか—その結果として日本各地で連隊設置の誘致運動がはじまる。甲府市でも軍隊の常駐は兵士による人口増、地元民が徴兵により他県へ行かず、地元で勤務出来る。休日には地元の商店がにぎわう。さらに面会日には県外から家族が来るなどの利点をあげて、甲府市参事会を中心に運動が行われた。

設置の案が決定されるとともに起きたのが、練兵場を含む広大な土地を確保する必要があるということであったが、これは当時の若尾財閥であった若尾地所部が現在の緑ヶ丘、北新町一帯の土地(その地主大小合わせて百二十余人)を買収し、合計十二万五千六百坪(四十一万四千六百余平方メートル)を一括寄贈することになり、土地問題と甲府市街活性化という問題が解決した。十二万余坪の約半分が兵舎と

衛戍、病院(陸軍病院—現在の国立甲府病院)と甲府連隊区司令部、あと半分が練兵場(現在の相川北西湯村山の麓まで)となった。建設は臨時陸軍建築部甲府出張所の手で行われるが、この工事を請け負ったのが早野組他一社である。

現在早野組にはこの関連書類は残されていないが、ただ一枚だけ「甲府市早野組請負工事歩兵第四十九連隊射撃場構築之状況」との標題のついた写真が現存する。この射撃場は練兵場の北側(現山梨県立体育館に東西六百メートル、北と南の両側に射撃場を、はさんで百メートルの土手が四つあり、西の着弾地の湯村山には二百メートルの土手があった。写真には北に法泉寺の本堂が望まれ、手前の丘を整地するトロッコが何台も写っている。現代の重機を使つての整地とちがひ、人力による労働力を大量に必要としたと思われるが、それだけの労力を動員することの出来る早野組の実力は、笹子トンネル工事の実績等により国や軍によって認められるものであった証拠であるといえる。

日常を取り巻く不穏な社会情勢。日本の治安安全神話が崩れつつある昨今、日々の暮らしの中で企業はもとより一般家庭を狙った犯罪が増加している。私たちは、自分自身の安全をもう一度真剣に考える時を迎えている。

今回、訪問させて頂いた昭和総合警備保障株式会社では、そんな時代のニーズに応えた警備体制をご提案。最新の警備システムときめ細かい対応で施設の管理メンテナンスはもとより、ホームセキュリティや防災・防犯など数多くの総合警備を一手に引き受けている。

会社を設立して現在に至る歴史は、県内で最も古く、数多くの経験と直面したさまざまなケースでの対応が信頼の警備の礎となっている。

「犯罪は時代によって変わってきています。核家族化が進む中で、高齢者や独身女性の一人暮らしを狙った犯罪が増えています。企業だけでなく、一般家庭での日頃の防犯意識の向上が大切な時代になっています」と語る代表取締役の村松昭氏。



住宅街での死角を狙った犯罪も増加。相談に訪れたお客様には各家庭の事情を考慮した防犯システムを提案。センターマシンは24時間体制で管理され、迅速に出動し対応できるよう機動隊と呼ばれる部署も設置している。地域に密着した防犯体

制はおおいに心強い。

最近購入したWILL VCは、住宅街など狭い道でも小回りがきき大活躍。おなじみのツートンカラーのスタイリングで存在感も十分。機動隊のフットワークを支えている大切なスタッフとなっている。当然の事ながらメンテナンスにも細心の注意をはらい、徹底した整備管理がなされている。

また、県内の百貨店や大手スーパーからも保安警備を任せられ、万引・置引等の不法行為や不審者の侵入防止に大切な役割を担っている。

「日々の暮らしの中、不安を感じたらまずお気軽にご相談下さい」心強いひと言が私たちの安心な生活を支えてくれる。知らず知らずの内に、お世話になっていたセキュリティのエキスパート。これからの時代、何

よりも生活に密着した大切なパートナーである事は間違いない。



◆ Data ◆

昭和総合警備保障株式会社
本社：山梨県甲府市朝氣一丁目1番5号
TEL 055(232)1402 (代) FAX 055(222)5333
静岡支社：静岡県御殿場市萩原496-4 八窪ビル2F
TEL 0550(84)0081
富士吉田営業所：山梨県富士吉田市下吉田2072-3
TEL 0555(24)7366 FAX 0555(24)4600



甲府市の北部、田んぼに囲まれたのどかな風景の中に立つ鈴木邸。昭雄さん(68)ご夫妻と息子さんの誠二さん(35)ご夫妻が暮らす二世帯住宅が、今回の訪問先だ。

7月の初めに完成したばかりという「シンセ・レゾンS」は、150坪の広々とした敷地に建てられた68坪の2階建て。1階は昭雄さんご夫妻の住まいで、リビングダイニングに和室、寝室の2LDK。誠二さんご夫妻が住む2階もリビングダイニングに寝室、将来の子ども部屋という2LDKで、間取りは1、2階ともほぼ同じだが、それぞれの個性が活かされた雰囲気異なる空間が広がる。

「友人がよく集まるので、広くてすっきりとした家を希望した」という1階は、15畳の広々としたリビングを確保。フローリングやドアにはシックな色合いを選び、落ち着いた雰囲気に仕上げています。スッキリ暮らすために不可欠な収納も、キッチンに約3畳のパントリー、寝室の隣には約4畳のウォークインクローゼットがあり、「リクエスト通り、十分な収納力があって気に入っています」と奥様も大満足の様子。

一方、2階は「とにかくシンプルに。真っ白な箱のように、とお願いしました」と若奥様。壁も天井



も白、フローリングも白木を選び、窓枠まで白にこだわった。室内は眩しいほど明るく、広々とした雰囲気。リビングには細窓が3枚並び、間には間接照明を設けるなど、随所にご夫婦のこだわりが感じられる洒落た空間だ。

玄関はそれぞれにあり、L字型に配置されている。当初は玄関を二つ横に並べようかと悩んでいたが、営業の川口さんから提案があり、今のスタイルに決まった。「こちらが考えつかないようなアイデアをいろいろと出していただけのおかげで、納得の家ができました」と昭雄さん。誠二さんも「間取りに苦労しました。希望ばかりを言っていたら

だんだん家の形がおかしくなってしまう。やはりプロのアドバイスは頼もしいですね」と笑顔を見せる。

「これからエクステリアをするのが楽しみ」と話す鈴木さんご一家。みんなでプランを出し合いながら造り上げる庭も、きっと家族の笑顔があふれる場所となるだろう。



■「運転に慣れはありません」

少し緊張した様子で語りはじめてくれたのは、トラック運転歴30年以上というベテラン運転手の奈良利幸さん。ダンプ運転手を経て昭和58年に甲府通運に入社。以来、10トントラックでの荷物の輸送を担当しており、現在は甲府通運が業務提携している名鉄運輸の関東エリアとの路線便を運行している。



路線便の仕事は夕方に山梨を発し、翌朝までに担当エリアに荷物を届け、その日の夕方に担当エリアでまた新たな荷物を積み、翌朝に山梨に戻るというハードな仕事だ。出勤は午後5時からだが、「いつも2時半から3時には出てきます。年齢のせいか、眠りたくても眠れなくてね」と笑ってみせるが、その言葉からは仕事に対するまっすぐな姿勢や強い責任感がうかがえる。

まっすぐな姿勢と 強い責任感から生まれる 仕事への情熱と誇り

甲府通運株式会社
作業課運行主任 **奈良 利幸さん**（南アルプス市）

そんな奈良さんが運転をする際に一番に心掛けているのは「基本に戻ること」だという。「交通ルールを忠実に守ること、それが基本です。ハンドルを握ったらいつでも命がけです。お客さまの大切な荷物を預かっていますから」と力を込める。

また奈良さんは「運転に慣れはありません」ともいう。担当している路線便で走る道路はいつもほぼ同じコースだが、走り慣れている道だからといって気が抜ける時はない。歩行者や自転車がいる一般道は特に神経をつかうそうで、気を引き締めて仕事に当たる毎日だ。

もちろん、気持ちとともに体調管理にも万全を尽くしている。そこには家族の協力も。「昼夜逆転の生活をしているので、家族は大変だと思いますよ。照れくさくて面と向かっては言えませんが、感謝しています」と笑顔を見せる。



■環境保護活動にも積極的

地球温暖化などが社会問題となり、プロドライバーにも環境問題への取り組みが求められる時代。甲府通運では昨年11月にISO14001を取得。各トラックには「無用なアイドリングをやめる」など、環境保護の取り組みが盛り込まれた「ドライバーの心得」が備えられている。「毎日地道に取り組んでいます。そうやってみんなが同じ気持ちで取り組むことが大切です」と環境保護にも積極的な奈良さん。何事にもまっすぐに、真剣に取り組んでいけるのは、「この仕事を誇りに思っています」と自信に満ちた表情で語れる人だからこそ。その姿勢は、後輩たちにもしっかりと伝わっていることだろう。

介護保険情報

〈やさしい手甲府のページ〉



介護保険ABC — 自宅でゆっくり入浴を —

朝晩冷え込むようになると、お風呂にゆっくり入りたくありませんか。
寝たきりの方や浴槽につかれない等の方のためのサービスをご紹介します。

訪問入浴サービス

訪問入浴とは、専用入浴車がご自宅まで訪問して、室内で入浴介護を提供するサービスです。看護師1名スタッフ2名で訪問し、おおむね1時間弱の入浴サービスを提供します。
看護師が同行するため、利用者の身体的な状態を把握しやすく、訪問介護などのほかのサービスを受ける際の情報交換やアドバイスに生きてきます。



サービス 手順

- 1、サービス開始・・・スタッフ全員で入室し、看護師は入浴前の検査を行います。その間他のスタッフは入浴の準備をはじめます。
- 2、バイタルチェック・・・ご家族の方々にも様子を伺いながら入浴可能な状態であるか確認、判断を行います。また、血圧・体温・脈拍を測り、総合的体調のチェックを行います。
- 3、準備・・・・・・入浴の準備が完了し、お湯はりをはじめます。
- 4、脱衣・・・・・・利用者のプライバシーに十分配慮し、浴槽へ移動します。
- 5、入浴・・・・・・洗髪、身体です。安心・快適な一時です。
- 6、上がり湯・・・・・・体を洗い終えゆったりと温まった後は、シャワーで上がり湯をかけながら湯ぶねより上がってゆきます。
- 7、着衣・・・・・・ベッドに戻った後は身体をよく拭き、スタッフが着替えを介助します。
- 8、バイタルチェック・・・再び体調のチェック、血圧・体温・脈拍の測定を行い、入浴による体調の変化がなかったか確認します。

効果

- 身体的効果**
入浴効果による血行促進によって、顔などの色つやが良くなり身体機能の回復が期待できます。皮膚を清潔にすることで痒みを減らし、また、床ずれの改善・解消の効果が期待できます。
- 精神的効果**
気分がほぐれリラックスします。気分転換がはかられ、会話を楽しむ余裕や心のゆとりも生まれます。緊張感の緩和や爽快感工場の効果も得られ、睡眠もよく取れるようになります。入浴時の会話や入浴後の介護相談によって、心配事やストレスなどの軽減につながります。

高齢者交流施設“安心ギャラリー”オープン



甲府銀座通りに、高齢者交流施設“安心ギャラリー”がオープンしました。高齢者やご家族、買物途中の方々のためのオアシスとして、ゆっくりくつろげる施設となっております。また、毎月楽しいイベントが開催されます。お気軽にお立ち寄りください。

安心ギャラリー 甲府市中央4-3-14
☎055-231-6632
<http://www.arms-net.com/anshin/>

介護保険に関するご相談は TEL 055 (231) 6633  在宅介護 **やさしい手** 

<http://www.yasashiite-kofu.co.jp>

炊きたてのご飯を味わい、
伝統の和菓子を選ぶ新店舗

桔梗屋東治郎 水琴茶堂上野原店



桔梗信玄餅でおなじみの桔梗屋東治郎の上野原店が、食事どころ「水琴茶堂」を併設して移転リニューアルオープンした。
水琴茶堂は鉄釜で炊きあげたご飯や揚げたてのフライ、手作

りの総菜などが味わえるお店。すべて無添加なので、自然の味そのものを楽しめる。
メニューは季節ごとに変わり、多彩な味わいが人気の「ミニミニDON」(千円)は、秋は栗福おこわや茶碗蒸しなどの八品、そばやほうとうなどもあり、甘味やアルコール類も充実。テイクアウトできるおにぎりや総菜も販売しているの、手軽なランチにもうれしい。



食事の帰りには、東治郎で味わい深い和菓子を選んでみては。十勝産の大納言小豆を使った「きんつば」や、最中と餡を食べる時に合わせる「団十郎お十八番」は贅沢な味わい。ぜひ一度ご賞味ください。



営業時間 東治郎 9:00～22:00
水琴茶堂 10:00～22:00
定休日 年中無休
所在地 上野原市上野原1613
TEL0554-63-5240



メガネ・時計の すすき



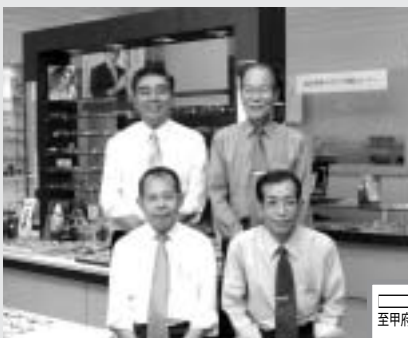
高い技術力が魅力の
頼りになる老舗

大きな時計台が目印のすすきは、六月十日の時の記念日にリニューアルオープンした。五十二年前のやはり時の記念日に創業したという老舗。充実した商品構成と高い技術力を持ったスタッフが信頼を集めていて、固定客が八割を占めるという。

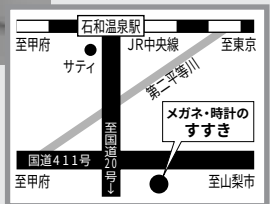
白を基調にシックなブラウンの家具類でコーディネートされた店内は、落ち着いた雰囲気。リニューアルに伴いニーズの多いめがねコーナーをさらに充実。スペースも広くとり、三十ブランド以上を取り揃えている。



アフターサービスにも力を入れていて、時計マナーではその場で修理に応じてくれる。古い時代の腕時計などの修理にも対応していて、その技術力は口コミで広がるほど。
「すすきなら必ず直してもらえると聞いて」と訪れるお客さまも多いとか。頼りになるお店です。



営業時間 9:00～20:00
定休日 第2・第4日曜日
所在地 笛吹市石和町市部1068
TEL055-262-2333



某月某日

「やばい」って、誰が？

×月×日

4ヶ月ほど前に「やばい」という言葉の使用方法が、年齢によって異なっているという報告があった。年齢が高い人は本来の「危険・あぶない」という意味で使い、若者は「かわいい」という意味で使っている、ということである。後者の使用例を挙げると、例えば、学校に子犬が迷い込んできたとする。犬好きな女子学生さんたちは、「やばいよ。先生これまじやばい」などと言う場合があるが、翻訳すると「きゃーかわいいー、どうしよう?」という意味である。

どのような経緯で、このように意味が転化していったのかを考えてみた。私と妻は、珍しく意見が一致して「これって、自分がやばいんだよなー」ということになった。もう少し説明すると、「自分がやばい」とは、あまりに可愛くて「自己制御が不可能になる」といった意味である。自己が制御できなくなるから危険＝「やばい」となるのだろう。

その表現は、巧妙かつ「お洒落」であり、なるほど上手いと感じないこともないが、もう一つ心配なこともある。私が年をとってしまったのかもしれないが、「こんなに自己中心的で良いのだろうか?」という疑問が生まれるのである。

確かに、「可愛い」という感情は、他人に説明不能な部分がある。したがって「可愛い」と言って一般化するより、「やばい＝(自己崩壊しそうだ)」と言って具体化した方が上手な表現なのだろう。しかしそこには、一般的な「抽象化」が入り込む余地のない自己中心の世界だけが残っている。

15～20年前に、「かわいい」を連発していた少女達がいたが、現在では「かわいい」とは言わない、「やばい」のほうが彼女ら・彼らの心にフィットするのである。大先輩の清少納言に、変遷に関する感想を聞いてみたいものである。

自己中心的で愛を叫ぶ インターネットと産業革命

×月×日

妻は毎日ネットサーフィンをする。私は最近インターネット嫌いが高じて、メールさえもできることなら読みたくない。自慢ではないが、15年ほど前にインターネットの環境にもっとも早く適応した一人であると思っているが、最近は使いたくないと思っている。

ネットの中は基本的に無法地帯である。どんなにセキュリティを固めても、相手が有能であれば無意味だし、もっと危険なのは「バーチャルな世界の中には、平穏な市民がほとんど存在しない」ことにある。メールマガジン・スレッド・ブログといったものを読むと、あまりのむき出しの表現(欲望)に気分が悪くなることがある。

名前の特定できないバーチャルな世界では、人間は原始人になってしまう。人は誰でも欲望があり、心理学によると数分に一度「妄想の世界の住人」になると言うことだが、現実社会では、その妄想を実行に移すことはまず無いし、妄想を他

人に見せることなく平穏に生きている。

インターネットの発展は産業革命に例えられると言われるが、本当に驚くべきは、その進展スピードにある。産業革命が始まってから、その技術が世界に浸透して行くには数十年から数百年かかっている。インターネットの場合、数年で十分であったし、10年以上たつと次のステージに変貌してゆく。

ここで何度も書いているが「ネットワークは社会」である。電話網といったインフラと違って、参加する人々が形成してゆくバーチャルな世界である。ここ数年の、ソフトウェア・ハードウェアの急速な発展を考慮すると、この辺で大きな社会変革がある可能性は否めない。今のインターネットは、「欲望をベースにした原始共産主義社会」と言えるかも知れないが、変化・変貌することは避けられない。次はどうなってゆくのだろうか?もしマルクスが生きていたら聞いてみたい。 [文:杉村 聡]

風林火山の駆け抜けた道

— 棒 道 —

棒道は、最強の戦国武将といわれた武田信玄が、北信濃攻略のために整備したといわれる軍用道路で、甲斐と北信濃を最短距離で結ぶ。「ボウミチ」と呼ばれるのは、八ヶ岳山麓をほぼまっすぐに走っていることに由来するといわれている。その道筋は、北杜市大泉町大芦から長坂町小荒間、小淵沢町を経て、八ヶ岳西麓を信州柏原（長野県茅野市）に至り、さらに大門峠を越える。かつては「上の棒道」「中の棒道」「下の棒道」があったとされる（「甲斐国志」）が、明らかではなく、現在確認できるのは「上の棒道」の一部のみである。

大芦から小荒間を過ぎたあたりに道に沿って「一番」「二番」というように石に彫られた石仏観音が一町（109m）ごとに並んでいる。これは、江戸時代末期、旅人が迷わないよう道標として、また旅の安全を願って西国・板東三十三観音を模して置かれたものと伝えられる。その頃、庶民の間では三十三カ所の寺院を巡礼する観音信仰が流行し、全国各地でこのように西国や板東を模倣した身近な霊場が作られていた。

また、棒道には信玄にまつわる面白い伝説も残されている。棒道のワラビは不思議なことに灰汁がないといわれている。戦国時代、戦の真っ直中において調理するのは一苦勞、ましてやワラビの灰汁をとることなど手間のかかる作業で、以ての外であった。そう思った信玄は、ワラビを一晩み、すると睨まれたワラビは怖くてたちまち灰汁のないワラビになったと



棒道（小淵沢地内）

いう。このことから、信玄がいかに偉大で、畏敬されていたかが想像できよう。

再来年のNHK大河ドラマは「風林火山」に決定した。それに因み、信玄に縁の深い沿線の見所を紹介していきたい。

小荒間古戦場跡

小海線甲斐小泉駅近く、小荒間地区には「小荒間古戦場跡」がある。ここは、信濃の村上義清の軍勢と武田信玄の合戦があったといわれている場所だ。天文9年（1540）2月、信濃の国より村上方の侍大将衆が深い雪の中、総勢3500余りの兵を率いて小荒間に押し寄せ、近郷を焼き払った。信玄は多田三八の勧めで即時出陣、旗本だけの夜襲で敵を破り勝利をおさめた。これは「甲陽軍鑑」（戦国大名である武田氏の戦略・戦術を記した軍学書）の説によるもので、史実は明らかではないが、信玄が本陣を敷いたといわれる「中屋敷」をはじめ、御座石、遠見石、刀架石、鞍掛石など合戦ゆかりの遺跡も残されている。

矢の堂跡（観音平）

矢の堂は、甲斐源氏の祖、新羅三郎義光（源義光）が11世紀末に大津の三井寺より勧請したもので、空海上人作の聖観世音菩薩（矢の観音）を本尊とする。信玄は、矢の堂を崇拝していたので、信州大門峠の合戦に向かう折、戦勝祈願をした。すると、見



棒道（長坂町小荒間）

事勝利をおさめたのだった。これを機に、矢の観音を棒道に近い観音平（小淵沢町、八ヶ岳編笠山中腹にある武田時代の烽火台）に移し、祀った。以来、信玄は信濃攻略のたびに観音平に立ち寄り戦勝を祈願したといわれている。現在、矢の堂は町内にあり、観音平には矢の堂跡だけが残されてる。

三分一湧水

1985年、環境庁より「日本名水百選」に選定された湧水。武田信玄の時代から下流農村の農業用水として使われていた。信玄は、この地において水の分配をめぐり起きていた争いを鎮めるため、水中に三角石柱を築き、水を三方向に分け、等分して流水するという方法を考え出した。そのことからこの名がついたといわれている。今でも毎日8,500tもの水が流れ、農業用水として利用されている。湧水館もあり、湧水の仕組み、民話、歴史などが学べる。（写真：若林賢明）



観音平烽火台跡より